

欧米・日本のビジネススクールにおける
アントレプレナーシップ教育プログラム比較
—専攻（コース）・科目内容・実践活動を中心として—

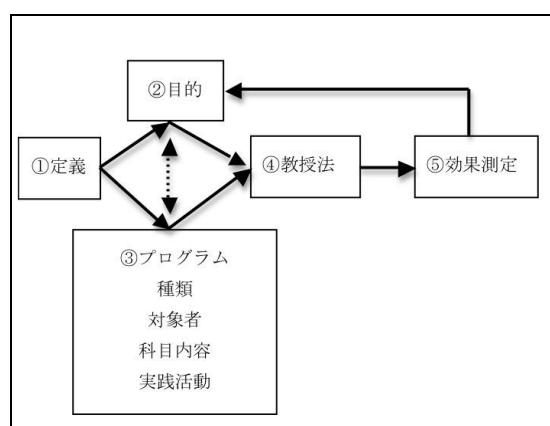
稲田 優子

関西学院大学大学院経営戦略研究科

yukoin@kwansei.ac.jp

本報告の目的は、Mwasalwiba (2010)のアントレプレナーシップ教育モデルにあるプログラムに注目し、アントレプレナーシップ専攻・コースの有無とプログラム（科目内容・実践活動）とその活動に準ずるアントレプレナーシップ支援センターについて明らかにすることである。調査対象は、2017年 Financial Times Global MBA Ranking に記載されている欧米ビジネススクール上位 10 校と文部科学省の 2017 年専門職大学院一覧(MBA)に記載されている日本のビジネススクール 23 校である。アントレプレナーシップ教育プログラムの内容に関する先行研究では、種類、対象者、科目内容、実践活動が含まれることは明らかとなっていたが、個別のビジネススクールを対象にした科目内容、実践活動の詳細については明らかになっていなかった。

図 1 Mwasalwiba (2010) アントレプレナーシップ教育モデル



調査結果から 4 点が明らかになった。1 点目は、欧米では全 10 校と日本では 7 校でアントレプレナーシップ専攻・コースがある。2 点目は、アントレプレナーシップ教育プログラムを構成する代表的な 9 つの科目の内 2 科目(アイデア形成・機会獲得、中小企業マネジメント)に科目設定の有無がある。3 点目は、実践活動は、欧米では全 10 校、日本では 3 校（九州大学大学院、早稲田大学大学院、事業創造大学大学院）で実施している。4 点目は、アントレプレナーシップ支援センターは欧米では全 10 校にあるのに対し、日本では 2 校（九州大学大学院、早稲田大学大学院）のみである。

表1：平成29年度 専門職大学院一覧（MBA）＜平成29年5月1日＞

No	区分	大学名	研究科名 ¹	専攻名	場所	コース
1	国立	小樽商科大学大学院	商学	アントレプレナーシップ	北海道	○
2	国立	筑波大学大学院	ビジネス科学	国際経営プロフェッショナル	東京都	×
3	国立	一橋大学大学院	国際企業戦略 ²	経営・金融	東京都	×
4	国立	京都大学大学院	経営管理教育部	経営管理	京都府	×
5	国立	神戸大学大学院	経営学	現代経営学	兵庫県	×
6	国立	香川大学大学院	地域マネジメント	地域マネジメント	香川県	×
7	国立	九州大学大学院	経済学府	産業マネジメント	福岡県	○
8	公立	兵庫県立大学大学院	経営	経営専門職	兵庫県	×
9	公立	県立広島大学大学院	経営管理	ビジネス・リーダーシップ	広島県	×
10	公立	北九州市立大学大学院	マネジメント	マネジメント	福岡県	×
11	私立	青山学院大学大学院	国際マネジメント	国際マネジメント	東京都	×
12	私立	グロービス経営大学院 大学	経営	経営	東京都	×
13	私立	事業構想大学院大学	事業構想	事業構想	東京都	×
14	私立	中央大学大学院	戦略経営	戦略経営	東京都	×
15	私立	法政大学大学院	イノベーション・マネ ジメント	イノベーション・マネジメント	東京都	×
16	私立	明治大学大学院	グローバル・ビジネス	グローバル・ビジネス	東京都	×
17	私立	早稲田大学大学院	経営管理	経営管理	東京都	○
18	私立	SBI 大学院大学	経営管理	アントレプレナー	東京都	○
19	私立	事業創造大学院大学	事業創造	事業創造	新潟県	○
20	私立	同志社大学大学院	ビジネス	ビジネス	京都府	×
21	私立	立命館大学大学院	経営管理	経営管理	大阪府	×
22	私立	関西学院大学大学院	経営戦略	経営戦略	大阪府	○
23	株立	ビジネス・ブレイクス ルー大学大学院	経営学	経営管理	東京都	○

出所) 文部科学省(2017)「専門職大学院一覧(平成29年度5月現在)」をもとに加筆修正。

表2：アントレプレナーシップ教育プログラムを構成する科目

	コー ス	ファ イ ン ス・資金 管理	マー ケ テ ィ ン グ	アイ デ ア 形 成・機 会獲得	ビ ジ ネ ス プ ラ ン	成 長 戦 略	組 織 構 成・チ ーム ビル ディ ング	ベン チ ャー 創 成	中 小 企 業 マ ネ ジ メ ン ト	リ ス ク 管 理
Insead	●	◎	◎	○	○	◎	◎	○	○	◎
Stanford	●	◎	◎	○	○	◎	◎	○	×	◎
Wharton	●	◎	◎	○	○	◎	◎	○	○	◎
Harvard	●	◎	◎	○	○	◎	◎	○	○	◎
Cambridge	●	◎	◎	○	○	◎	◎	○	-	◎
London	●	◎	◎	◎	○	◎	◎	○	○	◎
Colombia	●	◎	◎	○	○	◎	○	○	○	◎
IE	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	-	◎
ChicagoBooth	●	◎	◎	×	○	◎	◎	○	○	◎
Iese	●	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	×	◎
小樽商科	●	◎	◎	-	○	○	◎	◎	×	◎
九州	●	◎	◎	○	○	○	◎	○	×	○
早稲田	●	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	○	◎
SBI	●	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	×	◎
事業創造	●	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	◎
関西学院	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ビジネス・ブレイクスルー	●	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○

◎必須科目 ○選択科目 ×科目なし -不明

¹ 平成29年度 専門職大学院一覧では、研究科名はリストに記載されているが、表1では、研究科名は省略している。
² 2018年4月から一橋大学大学院国際企業戦略研究科金融戦略・経営財務コースは、専門職学位課程から修士課程に変更している。

出所) 欧米と日本のビジネススクールのホームページまたは学校案内を参照して著者作成。

本調査から判明する諸点として、欧米のトップビジネススクールと比較すると、日本のビジネススクールのアントレプレナーシップ教育プログラムは、アントレプレナーシップ教育の専攻・コースが少なく、一部のビジネススクールを除いて全体的にアントレプレナーシップ科目の設置数が少ない。また、実践活動とそれを支援するための支援機能も不十分である。文部科学省の2017年専門職大学院一覧を基にリストを作成しているため、専門職大学院以外の修士課程の大学院については調査対象ではない。また、本調査は、各ビジネススクールのホームページまたは学校案内を基に実施しているため、選択科目の詳細などの情報が反映されていない可能性があるなどの懸念点はある。しかしながら、日本のビジネススクールのアントレプレナーシップ教育に関して、アントレプレナーシップ教育の科目内容を検討し、アントレプレナーシップ教育の専攻・コース、実践活動、アントレプレナーシップ支援センターを拡充する必要がある。つまり、日本のアントレプレナーシップ教育プログラムは、質・量とともに検討する必要がある。

参考文献

Cambridge Judge Business School (2017), 「Overview」

<https://www.jbs.cam.ac.uk/programmes/mba/curriculum/overview/> (2018年3月20日閲覧)

Columbia MBA program (2017), 「Programs」

<https://www8.gsb.columbia.edu/programs/mba/academics/career-focused-paths> (2018年3月21日閲覧)

Financial Times(2018), 「Financial Times Global MBA Ranking 2017」

<http://rankings.ft.com/businessschoolrankings/global-mba-ranking-2017>(2018年1月11日閲覧)

Harvard Business School (2017), 「Curriculum」

<https://www.hbs.edu/mba/academic-experience/curriculum/Pages/default.aspx>(2018年3月20日閲覧)

IE Business School (2017), 「Brochure: The Program」 (2018年3月21日閲覧)

<http://docs.ie.edu/www.ie.edu/degrees/international-mba/brochure.pdf>

IESE Business School (2017), 「Oriental Week」

<https://mba.iese.edu/program/curriculum-content/orientation-week/> (2018年3月21日閲覧)

Insead (2017), 「Academics-MBA programme」

<https://www.insead.edu/master-programmes/mba/academics#curriculum-overview> (2018年3月20日閲覧)

Lackéus, M. (2015), *Entrepreneurship in Education: what, why, when, how. Entrepreneurship 360, Background Paper*, OECD.

London Business School (2017), 「Brochure: The MBA」 (2018年3月21日閲覧)

Mwasalwiba, E. S. (2010), Entrepreneurship education: a review of its objectives, teaching methods, and impact indicators, *Education + Training*, Vol. 52 No. 1, 20-47.

Stanford Graduate School of Business (2017), 「Personalized Curriculum」

<https://www.gsb.stanford.edu/programs/mba/academic-experience/curriculum> (2018年3月20日閲覧)

The University of Chicago Booth School of Business (2017), 「Curriculum & Concentrations」

<https://www8.gsb.columbia.edu/programs/mba/academics/career-focused-paths> (2018年3月21日閲覧)

The Wharton School(2017), 「The Wharton MBA Curriculum」 <https://mba.wharton.upenn.edu/mba-curriculum/>
(2018年3月20日閲覧)

SBI 大学院大学(2018) 「MBA コース科目一覧」 <http://www.sbi-u.ac.jp/curriculum> (2018年4月21日閲覧)

小樽商科大学大学院(2018) 「授業科目・時間割」 <http://www.obs.otaru-uc.ac.jp/program/course> (2018年4月21日
閲覧)

関西学院大学大学院(2017) 「Brochure: カリキュラム」 (2018年4月21日閲覧)

九州大学大学院(2017) 「Brochure: 2017年度時間割」 (2018年4月21日閲覧)

九州大学大学院(2018) 「九州大学ロバート・ファンアントレプレナーシップ・センター」 <http://qrec.kyushu-u.ac.jp/>
(2018年4月21日閲覧)

事業創造大学院大学(2018) 「カリキュラム」 <http://www.jigyo.ac.jp/curriculum/> (2018年4月21日閲覧)

ビジネス・ブレークスルー大学大学院(2018) 「アントレプレナーコース」

<https://www.ohmae.ac.jp/curriculum/curriculum03.html>(2018年4月21日閲覧)

文部科学省(2017) 「専門職大学院一覧(平成29年度5月現在)」

http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/senmonshoku/_icsFiles/afieldfile/2017/08/28/1388009_1.pdf (2018年3
月2日閲覧)

早稲田大学大学院(2017) 「Brochure: 2017年度科目紹介」 (2018年4月21日閲覧)

早稲田大学大学院(2018) 「早稲田インキュベーション推進室」 <https://www.waseda.jp/inst/inc/activities/seminar/>
(2018年4月21日閲覧)